

道 東 自 動 車 道
占 冠 地 区 下 部 工 工 事

割 掛 対 象 表 参 考 内 訳 書

割掛対象表参考内訳書は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではなく、工事の実施にあたっては、この主旨を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段において、受注者の責任において定め、施工するものである。

なお、割掛対象表参考内訳書の内容について質問することはできない。

令和7年3月

東日本高速道路株式会社 北海道支社
帯広工事事務所

割掛対象表参考内訳書 1 / 5

【共通仮設費】

| 割掛対象表の項目名称 | 工事の内容 | 数量内訳（参考） | 図面 |
|--|---|--|----|
| 工 事 用 機 械 運 搬 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ） A | 仮設構造物工（鋼矢板等土留工）で使用する建設機械（硬質地盤専用圧入機）の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 硬質地盤専用圧入機：1 台－1 往復 | — |
| 工 事 用 機 械 運 搬 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ） B | 仮設構造物工（鋼矢板等土留工）で使用する建設機械（硬質地盤クリア工法用硬質地盤専用圧入機）の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 硬質地盤専用圧入機普通鋼矢板用：1 台－13 往復 | — |
| 工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ） B | 仮設構造物工（鋼矢板等土留工）で使用する重建設機械（クローラークレーン 60 t 級）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 クローラークレーン 60 t 級：1 台－2 往復 ○現場内移動 クローラークレーン 60 t 級：1 台 | — |
| 工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ） C | 仮設構造物工（鋼矢板等土留工）で使用する重建設機械（クローラークレーン 70 t 級）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 クローラークレーン 70 t 級：1 台－13 往復 | — |
| 工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 基 礎 工 ） A | 場所打ち杭工で使用する重建設機械（オールケーシング掘削機 φ1,200）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 オールケーシング掘削機 削孔径 1,200 mm：1 台－1 往復 | — |
| 工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 基 礎 工 ） B | 場所打ち杭工で使用する重建設機械（オールケーシング掘削機 φ1,500）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 オールケーシング掘削機 削孔径 1,500 mm：1 台－2 往復 | — |
| 工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 基 礎 工 ） C | 場所打ち杭工で使用する重建設機械（油圧クラムシェル 0.4m3）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 油圧クラムシェル 0.4m3：1 台－1 往復 | — |
| 工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 基 礎 工 ） D | 構造物掘削特殊部で使用する重建設機械（クラムシェル 0.6m3）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 クラムシェル 0.6m3：1 台－5 往復 ○現場内移動 クラムシェル 0.6m3：1 台 | — |

割掛対象表参考内訳書 2 / 5

| 割掛対象表の項目名称 | 工事の内容 | 数量内訳（参考） | 図面 |
|-----------------------|--|--|----|
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）A | 構造物掘削特殊部A 1で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 構造物掘削特殊部A 1で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）B | 構造物掘削特殊部A 2で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 構造物掘削特殊部A 2で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）C | 構造物掘削特殊部A 3で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 構造物掘削特殊部A 3で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）D | 構造物掘削特殊部A 4で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 構造物掘削特殊部A 4で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）E | 構造物掘削特殊部A 5で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 構造物掘削特殊部A 5で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）F | 構造物掘削特殊部A 6で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 構造物掘削特殊部A 6で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）G | 構造物掘削特殊部A 7で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 構造物掘削特殊部A 7で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）H | 構造物掘削特殊部B 1で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 構造物掘削特殊部B 1で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）I | 構造物掘削特殊部B 2で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 構造物掘削特殊部B 2で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）J | 構造物掘削特殊部C 1で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 構造物掘削特殊部C 1で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）K | 構造物掘削特殊部C 2で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 構造物掘削特殊部C 2で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）L | 構造物掘削特殊部D 1で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約 140km（片道）】 構造物掘削特殊部D 1で使用する仮設材の運搬費 | ○ |

割掛対象表参考内訳書 3 / 5

| 割掛対象表の項目名称 | 工事の内容 | 数量内訳（参考） | 図面 |
|-----------------------|---|--|----|
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）M | 構造物掘削特殊部D3で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約140km（片道）】 構造物掘削特殊部D3で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）N | 構造物掘削特殊部E1で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約140km（片道）】 構造物掘削特殊部E1で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）O | 構造物掘削特殊部E2で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約140km（片道）】 構造物掘削特殊部E2で使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 仮設材等運搬費 （鋼矢板等土留工）P | 構造物掘削特殊部Fで使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。 | ○基地から現場 【運搬距離－約140km（片道）】 構造物掘削特殊部Fで使用する仮設材の運搬費 | ○ |
| 地質調査等費 （平板載荷試験） | 平板載荷試験に要する費用をいう。 | 平板載荷試験：22箇所 | — |
| アンカー工の 多サイクル確認試験費 | のり面アンカーの多サイクル確認試験に要する費用をいう。 | 33箇所 | — |
| 火薬庫費 | 火薬庫の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要する費用をいう。 | 火工所 ：2.7ヶ月 | — |
| 非破壊検査試験費 | コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。 | 橋梁下部工－側面：320箇所 | — |

【準備工事費】

| 割掛対象表の項目名称 | 工事の内容 | 数量内訳（参考） | 図面 |
|------------|----------------------------|---|----|
| 仮締切工費 | 橋梁下部工の施工に必要な仮締切工に要する費用をいう。 | 大型土のう 1,228袋（存置1年未満、中詰め土は、占冠地区盛土場で製作・運搬し、使用後は占冠地区盛土場へ運搬・敷均し、土のう袋は再資源化施設へ搬出し処分） 盛土 1,029 m ³ （占冠地区盛土場から掘削、運搬、敷均し、締固め、撤去後占冠地区盛土場へ運搬、敷均し） 鋼矢板締切 III型 L=6m 93枚 リース期間4ヵ月 鋼矢板打設 硬質岩盤クリア工法 鋼矢板引抜 油圧バイプロハンマ工法 ○基地から現場 【運搬距離－約140km（片道）】 鋼矢板締切 III型の運搬費 鋼矢板打設機 工事用機械分解組立費 クローラークレーン 70t級：1台 | ○ |

割掛対象表参考内訳書 4 / 5

| 割掛対象表の項目名称 | 工事の内容 | 数量内訳（参考） | 図面 |
|-------------|----------------------------------|--|----|
| 工事用進入路設置撤去費 | 橋梁下部工の施工に必要な工事用進入路設置撤去に要する費用をいう。 | 切込碎石路盤工（ $t=10\text{ cm}$ ）【使用材料：C-40】 幅員 4m 【設置箇所】 シム川A 1：30m、盛土 1 m^3 本流鷗川第一橋A 1：30m、盛土無 本流鷗川第一橋A 2、本流鷗川第二橋A 1、占冠P Aランプ橋A 1：50m、盛土 137 m^3 本流鷗川第二橋A 2：50m、盛土 11 m^3 占冠P Aランプ橋A 2：40m、盛土 9 m^3 本流鷗川第三橋A 1、占冠P Aアクセス路橋A 1：100m、盛土無 本流鷗川第三橋A 2、占冠P Aアクセス路橋A 2：100m、盛土無 本流鷗川第四橋A 2：20m、盛土無 計 420m、 $1,680\text{ m}^3$ 盛土計 158 m^3 （ 11 m^3 ：購入材、 147 m^3 ：占冠地区盛土場から掘削、運搬。共に敷均し、締固め、撤去後占冠地区盛土場へ運搬、敷均し） | ○ |

【仮設備工事費】

| 割掛対象表の項目名称 | 工事の内容 | 数量内訳（参考） | 図面 |
|------------|--|---|----|
| 足場工費 | 橋梁下部工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。 | 橋台、橋脚： $21,677.3\text{ 空 m}^3$ 深礎ぐい（ $\phi 5\text{ m}$ 以上）： 113.1 空 m^3 | — |
| 支保工費 | コンクリート構造物施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるため、仮設の支保構造物に要する費用をいう。 | 【くさび結合支保工】 載荷荷重 $0.0\sim 2.0\text{ t/m}^2$ 未満： 577.5 空 m^3 、残置日数：742 日 載荷荷重 $2.0\sim 4.0\text{ t/m}^2$ 未満： 15.4 空 m^3 、残置日数：53 日 載荷荷重 $4\sim 6.0\text{ t/m}^2$ 未満： 76.4 空 m^3 、残置日数：53 日 載荷荷重 $6\sim 8.0\text{ t/m}^2$ 未満： $1,782.5\text{ 空 m}^3$ 、残置日数：530 日 載荷荷重 $8\sim 10.0\text{ t/m}^2$ 未満： 581.0 空 m^3 ：残置日数：106 日 | — |

割掛対象表参考内訳書 5 / 5

【雑工事費】

| 割掛対象表の項目名称 | 工事の内容 | 数量内訳（参考） | 図面 |
|------------------------|--|--|----|
| 河川・水路の締切、迂回費 | 工事の施工に伴って、支障となる水路等を迂回する仮設物に要する費用をいう。 | 角型U字溝 300 (高密度ポリエチレン製U字溝) シム川橋 (A1 橋台：7m、P1 橋脚：10m、P2 橋脚：20m、 P3 橋脚：10m、P4 橋脚：20m、P5 橋脚：10m、 A2 橋台：11m) 本流鷺川第一橋 (A2 橋台：28m) 本流鷺川第二橋 (A1 橋台：22m、A2 橋台：23m) 本流鷺川第三橋 (A1 橋台：12m、A2 橋台：23m) 本流鷺川第四橋 (A1 橋台：12m、A2 橋台：12m) 占冠PAランプ橋 (A1 橋台：22m) | — |
| コンクリート寒中養生費 | 寒中コンクリートの施工における保温養生に要する費用をいう。 | 寒中コンクリート養生期間：11月上旬～3月下旬 シート面積：5,387 m ² | — |
| 火 薬 取 扱 い 費 | 火薬の取扱いに要する費用をいう。 | 火薬使用期間 掘削期間：2.7 ヶ月 | — |
| 構 造 物 水 抜 穴 費 | コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。 | 橋台：VP (φ75) L=123m | ○ |
| 目 地 材 費 | コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。 | 橋台：目地板 (t=2cm) 15 m ² | ○ |
| く い 頭 処 理 費 | 場所打ちぐいのくい頭はつりに要する費用をいう。 | φ1500：15 本、φ1200：9 本 | ○ |
| 支承アンカーボルト箱抜費 | 橋梁下部工工事において、上部工施工時の支承、アンカーバーを設置するための、箱抜に要する費用をいう。 | 75 箇所 | ○ |
| 場所打ちぐい（人力掘削）根固めコンクリート費 | ライナープレートの自重による沈下防止及び雨水の侵入防止のために行う根固めコンクリートに要する費用をいう。 | 構造物掘削 16.1 m ³ (占冠地区盛土場へ運搬、敷均し) ガイドウォール コンクリートC2-1：16.1 m ³ 型わく：18.8 m ³ 鉄筋：1.05 t | ○ |
| 仮 囲 い 費 | 民家、一般道と工事区分との境に設置する仮囲い工に要する費用をいう。 | シム川橋高架下部 180m 設置期間：P1～P3 の 100mは 32 ヶ月、P4～P5 の 80mは 26 ヶ月 | — |